

事業所における自己評価結果（公表）

回答者 7名

公表:令和6年6月3日

事業所名 東京YMCA PIT西早稲田

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			・プログラム内容によって、機の配置等を変更してスペースを確保している。 ・広い教室が利用できる時は、卓球やバドミントンなど体を動かすプログラムを実施している。	
	②	職員の配置数は適切である	5	2		・同建物の中に、他部門の職員が勤務している。緊急時や同性のスタッフ対応を必要とする場合に、協力を要請し、サポートしている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3			・館内は、バリアフリーではない。可能な範囲で肢体不自由、視覚不自由な方への対応もしていきたい。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7			・月1回スタッフミーティングを実施。各自の課題と改善について、意見交換をし、方法を検討、実行している。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1		・調査結果について、スタッフミーティングで検討し、業務改善につなげている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		・東京YMCAのホームページに公開している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4		3	・2023年度1月に新宿区の実地検査を受けた。	・第三者外部評価を実施する必要があると考え、検討している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2		・東京都の研修に参加し、事業所としても研修を実施している。	・今後研修計画と記録の整理は強化していく。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			・毎日の打ち合わせや振り返り、月1回のミーティングで情報を共有し、複数の目で日々、分析や対応を検討している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	4	2		・本事業所では実施していない。保護者から提出された他機関で行われた心理検査、知能検査等の結果を参考にしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			・複数の職員で立案し、意見を出し合い、協力して準備をしている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			・水泳では、年2回着衣泳実施。 ・教室では野菜の栽培・収穫、工作、チャレンジ企画、集団遊び等、毎月、季節感のある様々なプログラムを実施している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3		・季節や時間に応じたプログラムを計画して取り組んでいる。	・特別行事（児童館など地域との交流の機会等）を企画し、希望者を募って開催していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			・水泳、教室どちらも、考慮して計画を作成している。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	7			・毎日、事前打ち合わせの時間をもち、当日の支援の確認、前回の支援からの引き継ぎを確認している。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			・毎日、振り返りを実施し、情報共有、課題の設定と支援の検討を行っている。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			個別に記録を取り、スタッフミーティングで検証し、改善につなげている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	1	・月1回のミーティングで情報を共有して、複数の目で課題を分析、支援方法を検討をしている。 ・保護者とも相談して、目標や支援方法の変更の対応もしている。	未記入1
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5	2		・複数の活動を実施する上で、個々の発達段階に応じてサポートしている。	・地域交流の機会を増やすことやボランティア受け入れを検討している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2		・相談支援事業所と電話での情報交換、見学は積極的に対応している。	・セルフプランでの利用者が多い。 ・今年度担当者会議はなかった。開催の場合は管理者又は児童発達支援管理責任者が参加。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	2	1	・いくつかの学校と必要な範囲で情報共有を行っている。利用者の個人情報に関する内容の場合は、保護者に確認の上、実施。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4	2		・現在、該当児童を受け入れていない。受け入れる場合は、主治医等と連絡体制を整える。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3	3		・特に情報共有は出来ていない。新一年生を受け入れる場合は実施する。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	6			・ご本人と家族の同意が得られ、希望された範囲で提供することになっている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	2		・利用者の支援につながる地域の専門機関との連携を築く努力をしている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	5	・プール支援時の更衣室で、一般の水泳クラス在籍児と僅かだが会話の機会がある。	・特別行事として、児童館との交流を企画したが、希望者が少なく中止となった。プログラム内容を再度検討して実施に向けて取り組んでいく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		3	4		・参加は出来ていない。今後機会があれば参加を検討する。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			・送迎時や電話、メールを利用して連絡を取り合っている。 ・状況に応じて、対面での面談を実施している。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5	2	・個別に保護者の悩みや児童の課題に対してアドバイス、支援を行っている。	・保護者会の際に、保護者同士の意見交換や情報共有を行っている。 ・卒室生の保護者から話を聞く機会を設けることを検討している。
	他	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			・初回契約時や書類配布時に、対面や手紙配布で説明を行っている。
㉑		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			・相談を丁寧に聞き取り、アドバイスや支援を行っている。	
㉒		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	1	・利用曜日ごとに保護者会を開催している。	・保護者会は実施したが、保護者同士の連携までは至っていない。今後さらに、保護者会での交流が活発になるようにサポートしていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への 説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			・子どもや保護者からのご意見、情報をスタッフで共有し、検討の上対応している。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			・毎月PIT通信を発行してお知らせしている。 ・急な変更は、電話やメール、HPを使って発信している。	
	③⑤	個人情報に十分注意している	7			・個人情報に関する書類は鍵付きの部屋の鍵付きの書庫で管理している。 ・PCデータは法人のルールの下、慎重に管理している。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			・送迎時、メールや電話を用いて連絡・相談・報告など保護者との対話を心がけている。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	3	・施設全体で11月に「やまてのまつり」を開催している。地域住民や他のプログラム参加者と一緒に参加している。	
非常時等の 対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			・マニュアルはファイルで閲覧できるようにしてる。 ・防犯に関しては、館内全体の防犯体制に準じて対応している。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		・教室は四半期に1回避難訓練を実施(一時避難場所までは年1回)。 ・プールは年2回避難訓練を実施。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2		・東京都の研修に参加。 ・内部では職員全体での研修を年1回実施している。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1		・安全確保(自傷・飛び出しなど)のために行うとしている。職員間で具体的なケースの検討し、対応策を提示し、保護者の了承を得た上でやっている。行った時には、報告もする(支援計画書にも記載して、保護者に説明し、同意も得ている)。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	2	・入会時に食物アレルギーの調査をしている。	・基本的に食事・おやつ提供はしていない。 ・プログラムで駄菓子の提供をした際は、事前に原材料を確認し、保護者に確認をした。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	1	・事例集を作成して職員で共有している。	・新しく入った職員にも、これまでの事例集を周知する。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。